

タンクスケールの校正を簡単に

**Tank Scale Calibration**

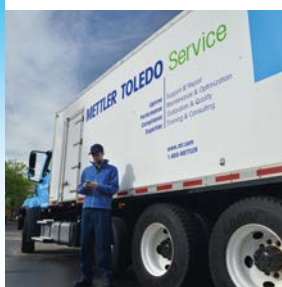
RapidCalは、タンク/反応槽/ホッパー/サイロスケールの校正に最適なメソッドです。この方法はトレーサブルで認証可能でありながら迅速なため、生産のダウンタイムを最小限に抑えられます。この機器はポータブルで、はかりの汚染のリスクがありません。

**すばやい校正**

RapidCalタンクスケール校正装置は非常に持ち運びやすく、準備に必要な時間や使用のための労力は最小限です。設置と校正がすばやく行われるため、年間を通じてダウンタイムが削減されます。

**さらなる正確性の追求**

油圧シリンダーによって加わる校正力が、標準の点検用分銅とのトレーサビリティが確保できる高精度の基準ロードセルによって測定されます。このプロセスでは通常の計量と同様にはかりを引き下げるため、配管の影響は自動的に考慮されます。

**コンプライアンス**

定期的に再校正を行い、トレーサブルな校正証明書を発行することにより、特別な労力をかけずに品質システムに確実に準拠することができます。RapidCalにより、業界の規制や定期的な監査も満たすことができます。

**Rapidcal****素早く正確な測定**

時間とコストがかかる校正メソッドに依存する必要がなくなり、正確さとトレーサビリティの結果が不確かになることはもうありません。新しく革新的なRapidCalメソッドは、追跡可能なタンクスケールの経済的で迅速な校正方法を提供し、点検用分銅や精製された液体、またははかりが汚染されるリスクなしで運用できます。

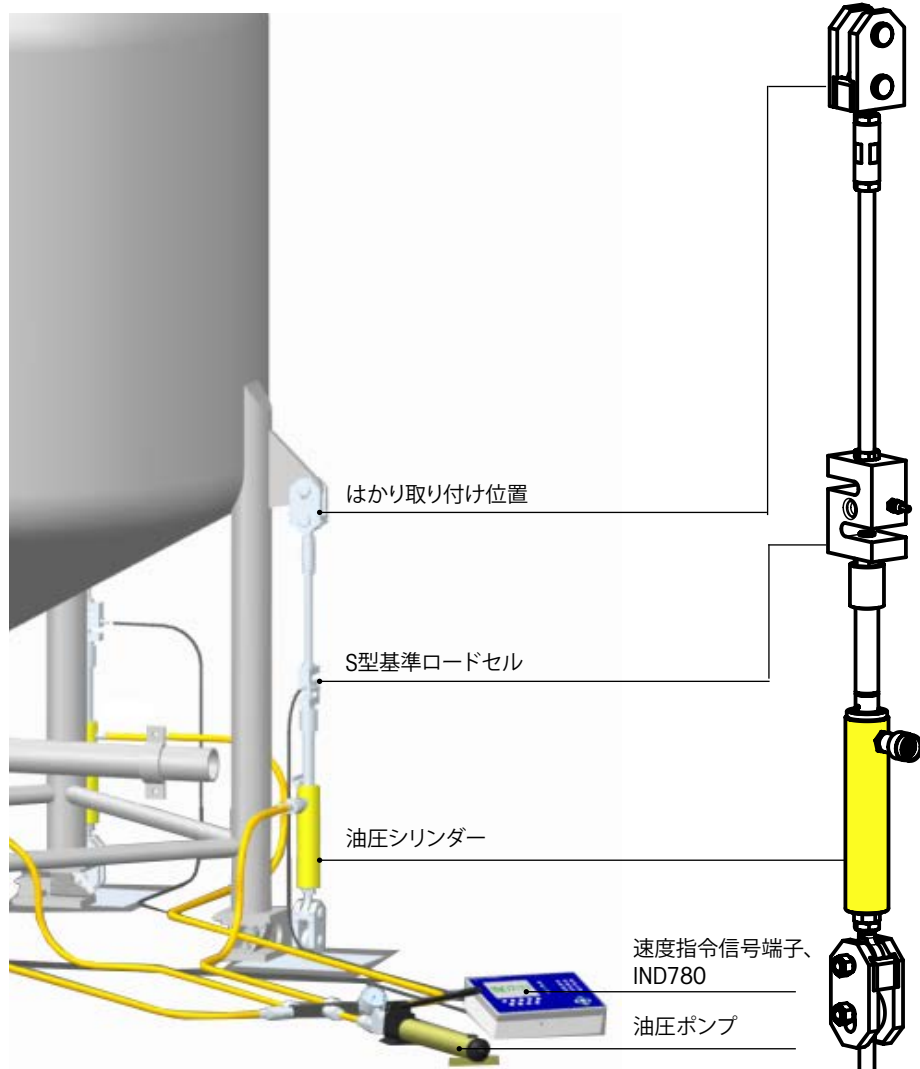
RapidCalの特長:

- 1～32tの範囲での高精度 (0.1%) フルスケール校正
- 迅速な校正プロセスによりダウンタイムを最小化
- かさばる点検用分銅は不要
- 精製水や校正済みの流量計は不要
- タンクが開かれないため、コンタミネーションリスクがありません
- 計量プロセスと同様にタンクを扱い、配管の影響は補正
- トレーサビリティ
- 社内品質システムとの互換性
- 品質システムの一環としての定期的な再校正
- 最小限の労力でプロセスの安定性を保証

仕様:

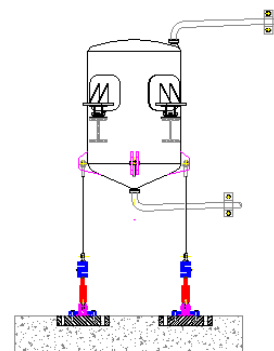
はかりひょう量	1 ~ 32トン
校正の誤差、%	0.1% (配管力を考慮)
トレーサビリティ	完全なトレーサビリティは、メラー・トレドの認証済み点検用分銅による
校正証明書	可能
校正温度範囲	5 ~ 35°C
はかりの種類	タンク、反応容器、ホッパー、サイロ
はかりの取り付け	コンクリートの床、スチール製構造物、またはメザニン製の床に取り付けられた圧縮または張力式はかり
最大はかりたわみ	25mm
校正システム	S型基準ロードセルとIND780指示計を装備した油圧シリンダー。油圧系統は食品グレードのオイルを使用
危険場所	Div. 2 (FM)、Zone 2/22 (ATEX)

RapidCalの設定:

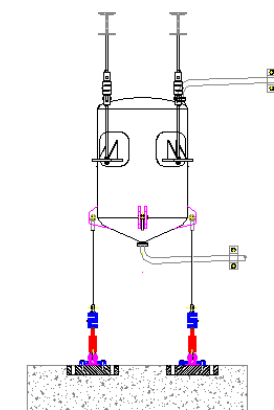


RapidCalに適したはかりのタイプ (例):

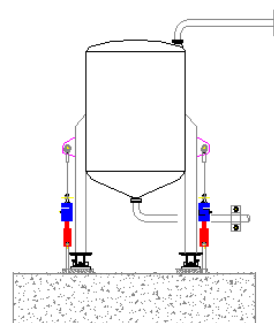
メザニンフロア用圧縮はかり:



引張型はかり:



コンクリートフロア上の圧縮はかり:



www.mt.com/ind-rapidcal

詳細はウェブサイトへ

メラー・トレド株式会社
産業機器事業部
TEL: 03-5815-5515



製品の仕様は予告なしに変更されることがあります。
©01/2021 METTLER TOLEDO. All rights reserved
文書番号30476930 B
MarCom Industrial